

# 平成29年火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

## 火災概要

平成29年の総出火件数は13件で、昨年と比べると5件の増加となりました。  
 火災種別でみると、建物火災が8件、車両火災が4件、その他火災が1件でした。  
 建物火災のうち住宅（専用住宅、共同住宅及び併用住宅）は4件で、昨年と比べると1件の減少となりました。  
 また、火災による死者は2人で、そのうち住宅火災による死者が1人発生しています。  
 出火原因別にみると、たばこ4件、放火（放火の疑い含む）2件、排気管2件、こんろ1件、他の原因が4件となっています。  
 損害額については昨年より21,805千円減少しています。

区分		年	平成29年	平成28年	増減
火災件数	合計		13	8	5
	建物火災		8(住宅4)	6(住宅5)	2
	林野火災				
	車両火災		4	1	3
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災		1	1	
焼損棟数			10	7	3
り災世帯数			5	5	
面焼積損	建物床面積（㎡）		484	224	260
	建物表面積（㎡）		1	1	
	林野（a）				
損害額（千円）別	合計		10,248	32,053	▲ 21,805
	建物		9,327	31,796	▲ 22,469
	車両		917	257	660
	航空機				
	その他		4		4
死者数			2	1	1
負傷者数			1	6	▲ 5
火災発生間隔日数（日）			28.1	45.6	▲ 17.5
焼火損元程度建物	全焼		4	1	3
	半焼		1	2	▲ 1
	部分焼			1	▲ 1
	ぼや		3	2	1
爆発					
火災原因	たばこ		4	1	3
	放火・放火の疑い		2	1	1
	排気管		2		2
	こんろ		1		1
	上記以外		4	6	▲ 2
住宅用火災警報器設置件数（ ）は住宅火災件数			0(4)	2(5)	

## 救急概要

平成29年の救急出動件数は3,924件で、前年に比べ230件増加し過去最多の出動件数となりました。

1日平均すると10件を超え、10年前に比べ約30%の増加となっています。

搬送人員も前年より174人増加の3,715人となり、小松市民の約29人に1人が搬送されたこととなります。全体の搬送者のうち、約61%が高齢者となっています。

区分		年	平成29年	平成28年	増減
救急出動件数	合計		3,924	3,694	230
	急病		2,461	2,206	255
	交通事故		410	439	▲ 29
	一般負傷		575	559	16
	転院搬送		336	344	▲ 8
	上記以外		142	146	▲ 4
救急搬送人員	合計		3,715	3,541	174
	急病		2,317	2,107	210
	交通事故		413	443	▲ 30
	一般負傷		551	537	14
	転院搬送		335	344	▲ 9
	上記以外		99	110	▲ 11
別傷病搬送者 人年齢	高齢者		2,275	2,089	186
	成人		1,122	1,130	▲ 8
	少年		147	159	▲ 12
	乳幼児		171	162	9
	新生児			1	▲ 1
搬傷病送程度 人員別	死亡		101	86	15
	重症		482	490	▲ 8
	中等症		1,382	1,316	66
	軽症		1,748	1,649	99
	その他		2		2

## 救助概要

平成29年の救助出動件数は57件で、前年に比べ4件減少しています。

出動件数のうち、救助活動件数は31件、救助人員は37人となりました。

内訳として、交通事故による出動が31件で約6割と、最も多くを占めています。

区分		年	平成29年	平成28年	増減	
出	動	件	数	57	61	▲ 4
活	動	件	数	31	35	▲ 4
救	助	人	員	37	39	▲ 2